

2015年度

卒業生アンケート

担当：佐藤 隆夫

今年度は、これから教職に就く若い世代の学生の方にセミナーでの思い出などを伺ってみました。今後、私の研究室に配属を希望される学生の方々は是非ご一読いただければ幸いです。

ご回答いただいた原文に太字処理をさせて頂いた箇所があります。

1. 大学で数学を学ぼうと思われたきっかけは何でしょうか。

♠ もともと数学という学問が好きであり、将来は**数学の先生になりたい**と考えていたからです。

2. 教職を目指そうと思われたきっかけは何でしょうか。

♠ 小学校、中学校、高校時にとても**素敵な先生に出会い**、私も人を育てる仕事に就きたいと考えたからです。

3. 理学部第二部を選ばれたきっかけは何でしょうか。

♠ 教師を目指していましたが、はじめは**教育学部**を目指していましたが、理学部でも**数学の教員免許の取得**ができるということを知り、調べていく中で**理科大は理数教育で有名**であることを知ったからです。また、**二部を選んだのは学費が安い**ことが主な理由です。

4. 夜間部に在籍して、得をしたこと、良かったことなどありましたら教えてください。

♠ 良かったことは、**アルバイトとの両立がしやすいこと**と、**人生経験が豊富な方と交流する機会が多く**、自分の知らない世界を知る**きっかけが多くあったこと**です。

5. 大体で構いませんので、大学1, 2回生の頃の一日のライフスタイルを教えてください。

♠ **教職科目を履修**していたので、授業は**月曜日から土曜日までフルコマ**入っていることが多かったです。朝は**8時頃**から**15時まで**アルバイトをして、夕方から夜にかけて**学校**、その後**サークル**に参加していました。

6. アルバイトはされていましてでしょうか。されていた場合、大よその業種や勤務時間帯を教えてください。

♠ 大学在学中に経験したのは、**飲食店での接客のお仕事**と**テーマパークの深夜清掃のお仕事**です。飲食店の方は、はじめは朝からお昼過ぎまでの時間帯（**8時～15時**）で入っていましたが、後に**深夜勤務（22時～8時）**にも入るようになりました。テーマパークについては、**学校が終わった後の深夜（0時～8時）**に働いていました。

7. アルバイトと学業の両立は難しくなかったですか。苦労されたことなどありましたら教えてください。

♠ 慣れるまでは少し大変ですが、タイムマネジメントをする力がついたと思います。時間が限られる分、集中力や効率を高めることができました。苦労したことは、深夜でアルバイトをしていた時は疲労で授業中寝てしまったり、大学の予定とアルバイトがバッティングしてしまったりしたことです。

8. アルバイトに関して、新しい1年生に勧めたいこと、気を付けて欲しいことなどありましたら自由にお書きください。

♠ アルバイトは自分の職業観を育てる上で、重要なことなので是非やってほしいと思います。私はテーマパークでアルバイトをしていましたが、面白いバイトをすると人としての経験の幅が広がって良いと思います。気をつけるべきことは、優先順位を守ることです。学生である以上、学業が本分であることを自覚してやめるべきときにはやめる勇気を持つことも大事です。

9. 大学の数学で特に興味を持った内容、もしくは定理などは何ですか。(なかなか難しいかと思いますが) その理由などもお聞かせいただけると嬉しいです。

♠ 4年間の中で興味をもったことはたくさんあるのですが、「大学」の数学として一番印象に残っているのは、一年生で習った「 $\epsilon-\delta$ 論法」です。この方法の意味を理解できた時、数学の厳密性と数学的な表現の仕方の面白さに目覚めたと思います。

10. 印象に残った講義、面白かった講義があれば、その理由も含めて教えてください。

♠ 3年次に履修した「情報科教育法」の授業では、インストラクショナルデザインについて学んだのですが、教育を理系的な視点で捉えているところが新鮮で面白かったです。

11. 卒業研究ゼミでのテキストと、それを選んだ理由をお聞かせください。

♠ 卒業研究のテキストは「格子から見える数学」を選びました。理由は、「読み物」として面白かったこと、また内容が中学生や高校生でも理解できることから、今後数学教育に携わる上で学んだことを活かしていけるのではないかと考えたからです。

12. セミナーの予習にはどのくらいの時間が掛かりましたか。また、どのような方法で準備をしていましたか。

♠ 大体一日前に時間をとって10時間程度テキストに書いてあることを実際に自分でノートにやりました。わからないことは図書館やインターネットで調べて、自分で解決しました。

13. 自分が行った発表で一番印象深かったことは何ですか。

♠ 球面幾何についての発表です。内容が面白くて、もう少し自分で掘り下げて学んでみたいと思いました。

14. ノートの準備、発表や板書の仕方で工夫したことは何ですか。

♠ 自分の手で一度ノートにやってみると、テキストに書かれていないこと、省略されていることがわかります。その上でその省略事項についても説明できるように調べて自分なりに理解するようにしました。

15. セミナーでの良い思い出。

♠ テンポよく発表ができ、また質問に対しても、きちんと説明できた時は楽しかったです。

16. セミナーでの苦い思い出。

♠ 準備が間に合わず、中途半端な発表をしてしまった時です。

17. セミナーを通して得られたものはありますか。

♠ 数学についての知識の幅が広がりました。また、「厳密に」説明する力を養うことができたと思います。

18. 教員採用試験の勉強はどのようにされていたのでしょうか。

♠ 本格的に学習を始めたのは3月の合宿からで、それ以降はアルバイト等も全てやめ、進路に集中するようにしました。4年次は、ゼミ以外はほとんど授業もなく、時間的な余裕はあったのですが、勉強についてはダラダラとやらずの時間を決めてやることを心がけました。具体的には一日4、5時間程度、過去問と教職教養の学習をしました。

19. 教員採用試験の勉強とゼミの勉強の両立は大変でしたか。どのようにやりくりしていたのでしょうか。

♠ 私の場合、地元と東京で教員採用試験が2つ、大学院入試が1つ、教育実習が2回とかなり忙しいスケジュールでしたが、優先順位を決めてタイムマネジメントをしっかりと行いながらやりくりするようにしました。佐藤先生のゼミでは教員志望者に対して、実習や採用試験等のスケジュール面で融通を利かせていただいたので、とても助かりました。

20. 中学の教員を目指されているとのことですが、現代数学の魅力を中学生に伝えるとしたらどのように教えますか。

♠ 「ケーニヒスベルクの七つ橋」の話から位相の話をしたと思います。また、駅の路線図など身近な例を挙げて説明します。

21. 大学数学で鍛えた数学力を、直接・間接を問わず中学教員として活かすところがあるとすればどのような所だと思われますか。

♠ 直接的には、数学についての知識の幅広さや専門性は数学教員としては大きく役にたつと思います。また、教員に限らず、数学を通して身についた厳密性や効率を求めることは、日常生活のあらゆる場面で生きてくると思っています。

22. 小学校の教員免許も取得されるとのことですが、きっかけは何だったのでしょうか。また、小学校での教育実習で得られたものはありますか。

♠ きっかけは理科大の方で「小学校教員養成特別プログラム」というものが募集されており、もともと教育学部志望だったこともあり興味を持ちました。小学校の教育実習は中学校とは大きく異なり、そうした「違い」を知ることができたことは大きな体験です。また、小学1年生のこどもたちが初めて「1」「2」「3」という数字を習っている姿を見て、数学教育の原点を感じました。貴重な体験をさせていただいたと思っています。

23. 算数と数学の違いは何だと思えますか。自由にお書きください。

♠ 算数は計算のやり方を学び、数学は計算を学問として研究することだと思えます。算数は実際に体験できるものを主に扱いますが、数学はより抽象的なものを考えることができることが大きな違いだと思えます。

24. これから大学で理学を学ぼうと考えている方々に、理科大の夜間部を勧めるとしたらどのようなところでしょうか。もしくは、こうすればもっと理科大の夜間部が良くなりそうだと思うようなところがありますか。

♠ まず、自分もそうですが、学費が安いことは大きなメリットだと思えます。また、一部に比べ二部は特に教員志望の学生が多く、同じ志をもつ仲間と学業に励むことができると思えます。反対に二部に限らずですが、理科大生は専門性は高いものの、少し視野が狭くなってしまいう傾向があると思えます。アルバイトやサークル、趣味、興味のあることなどどんな事でも良いので、視野を広く持って人と関わる機会を増やせるともっとよくなると思えます。

25. 数学を勉強して良かったと思うときはどのようなときですか。

♠ 私の場合、数学を通して得た知識を日常生活に還元できた時は数学を学んでいて良かったと強く思えます。お金や時間、その他日常生活の中で数字で扱うことは多くありますが、「数字に強い」ということはそれだけで生きる力に直結することも多いと考えています。

26. (後輩たちに一言) 佐藤研(代数学・位相数学系)で卒業研究に配属を希望している方への心構えやアドバイスなどありましたら自由にお書きください。

♠ 佐藤先生のゼミは教員志望の学生に対して、スケジュール上での配慮をしっかりとしてくださり、進路等で忙しくなる4年次でも計画的に学習を進めていくことができました。また、代数学・位相数学系ということで、自分もはじめは難しそうなイメージをもていましたが、4年次までの3年間の知識があれば必ず理解ができます。中学・高校の数学の知識と関係する部分もあるので、教員志望の学生にもお勧めしたいと考えています。また、がっつり数学をやりたい人にもおすすめです。是非、佐藤研に入って、残り一年の学生生活を充実させてほしいと思えます!!

27. その他、以上のほかに特記したいことがありましたら自由にお書きください。

♠ 一年間、ご指導いただき本当にありがとうございました。

お忙しいところ大変丁寧にご回答頂き、非常に嬉しく思っています。ただでさえお忙しいところ、ご協力頂き感謝いたします。本当にありがとうございました。